



## CLI のエラー メッセージ



(注)

現在、Cisco IPS 7.1 をサポートしているプラットフォームは、IPS SSP を搭載した Cisco ASA 5585-X のみです。それ以外の Cisco IPS センサーは、IPS 7.1 を現在サポートしていません。

この付録では、CLI のエラー メッセージと CLI の検証エラー メッセージの一覧を示します。次のような構成になっています。

- 「CLI のエラー メッセージ」(P.D-1)
- 「CLI 検証エラー メッセージ」(P.D-5)

## CLI のエラー メッセージ

表 D-1 では、CLI のエラー メッセージについて説明します。

表 D-1 CLI のエラー メッセージ

エラー メッセージ	理由	コマンド
getVirtualSensorStatistics : Analysis Engine is busy	仮想センサーが初期化を終了していないため、分析エンジンがビジー状態です。	show statistics virtual-sensor
getVirtualSensorStatistics : Analysis Engine is busy rebuilding regex tables.This may take a while.	センサーのイメージが作成された直後で、分析エンジンはキャッシュ ファイルを構築中のため、ビジー状態です。	show statistics virtual-sensor
editConfigDeltaSignatureDefinition : Analysis Engine is busy rebuilding regex tables.This may take a while.	センサーのイメージが作成された直後で、分析エンジンはキャッシュ ファイルを構築中のため、ビジー状態です。	service signature-definition
Invalid command received.	.conf ファイルおよびコードが同期していません。このフィールドでは通常、発生しない状態です。	すべてのコマンド
Invalid port number was entered.	URI に範囲外のポート番号が入力されました。	copy、upgrade、 show tech-support

表 D-1 CLI のエラー メッセージ (続き)

エラー メッセージ	理由	コマンド
Invalid scheme was entered.	内部テーブルが同期していません。このフィールドでは通常、発生しない状態です。	<b>copy、upgrade、show tech-support</b>
Unknown scheme was entered.	URI に無効なスキームが入力されました。	<b>copy、upgrade、show tech-support</b>
The filename <file> is not a valid upgrade file type.	プラットフォームおよびバージョンに対して誤ったファイルのインストールが試みられました。	<b>upgrade</b>
idsPackageMgr: digital signature of the update was not valid	シグニチャ アップデートまたはサービス パックが破損しています。TAC に連絡します。	<b>upgrade</b>
Cannot create a new event-action-rules configuration."rules0" is currently the only configuration allowed.	サービス イベント アクション規則に対して無効な論理インスタンス名が入力されました。 <sup>1</sup>	<b>service event-action-rules</b>
Cannot create a new signature-definition configuration."sig0" is currently the only configuration allowed.	サービス シグニチャ定義に対して無効な論理インスタンス名が入力されました。 <sup>2</sup>	<b>service signature-definition</b>
Cannot create a new anomaly-detection configuration."ad0" is currently the only configuration allowed.	サービス異常検出に対して無効な論理インスタンス名が入力されました。 <sup>3</sup>	<b>service anomaly-detection</b>
User does not exist.	管理者が、システムに存在しないユーザ名のパスワードの変更を試みています。	<b>password</b>
Incorrect password for user account.	ユーザが、パスワードを変更しようとして無効なパスワードを入力しました。	<b>password</b>
Empty user list.	curUserAccountList.xml ファイルにエントリがありません。このフィールドでは通常、発生しない状態です。	<b>username</b>
User already exists.	ユーザの作成が試みられましたが、そのユーザはすでにシステムに存在します。	<b>username</b>
Cannot communicate with system processes.Please contact your system administrator.	1 つまたは複数の必須アプリケーションが制御トランザクションに回答していません。	すべてのコマンド
Source and Destination are the same.	—	<b>copy</b>
Backup config was missing.	ユーザが、バックアップ コンフィギュレーションファイルのコピーまたは消去を試みましたが、バックアップ コンフィギュレーションファイルは生成されていません。	<b>copy erase</b>

表 D-1 CLI のエラー メッセージ (続き)

エラー メッセージ	理由	コマンド
Could not load CLI configuration files, can not complete request.	.conf ファイルが見つかりません。このフィールドでは通常、発生しない状態です。	copy
Error writing to <URL>.	コピー先に指定された URL に書き込みできませんでした。	copy
Error reading from <URL>.	コピー元に指定された URL を読み取りできませんでした。	copy
Packet-file does not exist.	ユーザがパケットファイルのコピーまたは消去を試みましたが、パケットファイルはキャプチャされていません。	copy erase
No downgrade available.	ユーザが、アップグレードされていないシステムのダウングレードを試みました。	downgrade
No packet-file available.	ユーザが、ファイル情報またはパケットファイルの表示を試みましたが、パケットファイルが存在しません。	packet
Log file exists but an error occurred during read.	ユーザが表示またはコピーしていた iplog ファイルが上書きされました。ファイルの内容は、一部表示可能です。	packet
Another user is currently capturing into the packet-file.Please try again later.	—	packet capture
Another CLI client is currently displaying packets from the interface.	この操作を行うには、他の CLI セッションが表示を終了するまで待機する必要があります。複数のユーザがコマンドコントロール インターフェイスを同時に表示する可能性があります。	packet display
Log does not exist.	ユーザが、存在しない iplog のコピーまたは表示を試みました。	copy iplog packet display iplog
The requested IPLOG is not complete.Please try again after the IPLOG status is 'completed.'	ユーザが、完成していない iplog のコピーまたは表示を試みました。	copy iplog
Could not create pipe /usr/cids/idsRoot/tmp/pipe_cliPacket.<pid>.tmp	iplog ファイルを送信するためのパイプを開くことができませんでした。この状態は、スペースまたはリソース上の制限があることを示しています。このフィールドでは通常、発生しない状態です。	copy iplog

表 D-1 CLI のエラー メッセージ (続き)

エラー メッセージ	理由	コマンド
The log file was overwritten while the copy was in progress.The copied log file may be viewable but is incomplete.	iplog がセンサーからのコピー中に上書きされました。	copy iplog
Could not read license file.	ライセンス ファイルがコピーされましたが、開くことができません。	copy license-key
Could not write the temporary license file location used to copy the file off the box.	一時保存場所の /usr/cids/idsRoot/tmp/ips.lic を開くことができませんでした。この状態は、スペース上の制限があることを示しています。このフィールドでは通常、発生しない状態です。	copy license-key
Virtual sensor name does not exist.	ユーザが、存在しない仮想センサー上の iplog の開始または停止を試みました。	iplog
You do not have permission to terminate the requested CLI session.	オペレータ ユーザまたはビューア ユーザが、別のユーザに属する CLI セッションの終了を試みました。	clear line
Invalid CLI ID specified, use the 'show users all' command to view the valid CLI session IDs.	ユーザが、存在しない CLI セッションのキャンセルを試みました。	clear line
The maximum allowed CLI sessions are currently open, please try again later.	すでに最大数の CLI セッションが開かれているときに、オペレータ ユーザまたはビューア ユーザがログインを試みました。	initial login
The maximum allowed CLI sessions are currently open, would you like to terminate one of the open sessions?	すでに最大数の CLI セッションが開かれているときに、管理者ユーザがログインを試みました。	initial login
Can not communicate with system processes.Please contact your system administrator.	CLI からセンサー上のアプリケーションにアクセスして起動情報を取得できませんでした。これは通常、発生しない致命的なエラーです。ユーザはサービス アカウントにログインして、手動でセンサーをリポートする必要があります。	initial login
The instance cannot be removed.Instance assigned to virtual sensor name.	ユーザが、仮想センサーに現在割り当てられている設定インスタンスの削除を試みました。設定をデフォルトにリセットするには、 <b>default service</b> コマンドを使用します。	no service component instance
Insufficient disk space to complete request.	コンフィギュレーション ファイルの新しいインスタンスを作成するには、ディスクの空き容量が足りません。	copy instance service component instance

1. このエラーは、仮想ポリシーをサポートしていないプラットフォームでのみ発生します。
2. このエラーは、仮想ポリシーをサポートしていないプラットフォームでのみ発生します。
3. このエラーは、仮想ポリシーをサポートしていないプラットフォームでのみ発生します。

# CLI 検証エラー メッセージ

表 D-2 に検証エラー メッセージを示します。

表 D-2 検証エラー メッセージ

エラー メッセージ	理由/場所
Interface 'name' has not been subdivided.	物理インターフェイスまたはインライン インターフェイス <i>name</i> のサブインターフェイス タイプはありません (サービス インターフェイス サブモード)。
Interface 'name' subinterface 'num' does not exist.	物理インターフェイス <i>name</i> がインライン VLAN ペアに分割されましたが、指定されたサブインターフェイス番号が存在しません (サービス インターフェイス サブモード)。
Interface 'name' is the command-control interface.	物理インターフェイス <i>name</i> は、コマンド/コントロール インターフェイスです (サービス インターフェイス サブモード)。
Interface 'name' has been subdivided.	物理インターフェイス <i>name</i> のサブインターフェイス タイプは、インライン VLAN ペアまたは VLAN グループです。あるいは、インライン インターフェイス <i>name</i> のサブインターフェイス タイプは VLAN グループです (サービス インターフェイス サブモード)。
Interface 'name' is assigned to inline-interfaces 'inlinename.'	物理インターフェイス <i>name</i> は、インライン インターフェイス エントリの <i>interface1</i> または <i>interface2</i> に割り当てられています (サービス インターフェイス サブモード)。
Vlan 'vlannum' is assigned to subinterface 'subnum.'	VLAN <i>vlannum</i> は、すでに別のサブインターフェイス <i>subnum</i> エントリの <i>vlan1</i> または <i>vlan2</i> に割り当てられています (サービス インターフェイス サブモード)。
Vlan range 'vlanrange' overlaps with vlans assigned to subinterface 'subnum.'	VLAN 範囲 <i>vlanrange</i> には、別のサブインターフェイス <i>subnum</i> エントリの <i>vlans range</i> にすでに使用されている値が含まれています (サービス インターフェイス サブモード)。
Unassigned vlans already assigned to subinterface 'subnum.'	未割り当ての VLAN は、すでに別のサブインターフェイス <i>subnum</i> エントリで選択されています。
Inline-interface 'inlinename' does not exist.	インライン インターフェイス <i>inlinename</i> が存在しません (サービス インターフェイス サブモード)。
The default-vlans for the selected interfaces do not match.interface1, 'name' default-vlan is 'vlannum,' interface2, 'name' default-vlan is 'vlannum.'	ユーザがインライン インターフェイスのサブインターフェイス タイプを VLAN グループに変更しようとしたが、インライン インターフェイスに割り当てられている 2 つのインターフェイスのデフォルト VLAN が一致しません (サービス インターフェイス サブモード)。

表 D-2 検証エラー メッセージ (続き)

エラー メッセージ	理由/場所
interface1 and interface2 must be set before the logical interface can be divided into subinterfaces.	ユーザがインライン インターフェイスのサブインターフェイス タイプを VLAN グループに変更しようとしたが、interface1 および interface2 の両方が設定されていません (サービス インターフェイス サブモード)。
Interface 'name' has not been subdivided into inline-vlan-pairs.	物理インターフェイス <i>name</i> サブインターフェイス タイプがインライン VLAN ペアではありません (サービス インターフェイス サブモード)。
Interface already assigned to virtual sensor 'vsname.'	仮想センサー エントリの物理インターフェイス セットに追加しようとしているインターフェイスとオプションのサブインターフェイスは、すでに別の仮想センサー エントリに割り当てられています。
The instance cannot be removed.Instance assigned to virtual sensor 'vsname.'	ユーザが削除しようとしているシグニチャ定義、イベント アクション ルール、または異常検出のコンフィギュレーション ファイルは、現在仮想センサー <i>vsname</i> で使用されています。